

アメリカと中国：東アジア秩序の行く末

発表者：佐橋 亮 氏
神奈川大学 法学部 准教授

力を増した中国に、アメリカは関与重視の政策からの転換を余儀なくさせられている。アメリカのアジア外交は変質している。いまや、アメリカにとって中国はロシアや中東と並ぶ軍事面での課題とみなされるようになった。果たして、東アジアの国際関係は再び深刻な政治対立や一触即発の危機を経験することになるのか。それとも異なる秩序の形は生まれるのだろうか。東アジア秩序を展望する。

佐橋亮氏プロフィール

イリノイ大学政治学科留学を経て、国際基督教大学（ICU）教養学部卒。東京大学大学院博士課程修了。博士（法学）。オーストラリア国立大学博士研究員、東京大学特任助教等を経て 2010 年より現職。2014-15 年にスタンフォード大学アジア太平洋研究センター客員准教授，メキシコ自治工科大学（ITAM）吉田茂日本研究チェア（客員教員）を務める。専攻は国際政治学。とくに、アメリカのアジア戦略、米中関係と台湾，アジア太平洋の安全保障。公財）日本国際交流センター（JCIE）客員研究員，上智大学外国語学部英語学科講師を兼ねる。参議院客員調査員、笹川平和財団特別研究員、米国ジャーマン・マーシャル・ファンド（GMF）・東京財団連携研究員，日本学術振興会特別研究員（DC1）等を歴任。日本台湾学会賞等を受賞



[著書・論文・訳書]

- ・『共存の模索 アメリカと「二つの中国」の冷戦史』（勁草書房）（単著）2015 年 12 月刊行
- ・『支配への競争—米中対立の構図とアジアの将来』（日本評論社）（アロン・L・フリードバーグ著、佐橋亮監訳）2013 年 7 月刊行
- ・“Japan-Taiwan Relations since 2008: An Evolving, Practical, Non-Strategic Partnership,” Jean-Pierre Cabestan and Jacques deLisle (eds.), Political Changes in Taiwan under Ma Ying-jeou: Partisan conflict, policy choices, external constraints and security challenges, London: Routledge, 2014, 他多数



日時： 2016年2月26日（金）

16:30~18:00

会場： 広島大学 東広島キャンパス
国際協力研究科（IDEC）405号室

司会： 友次 晋介
（平和科学研究センター 准教授）

※どなたでも参加いただけます（予約不要）

[お問合せ] 広島大学平和科学研究センター

TEL 082 542 6975 FAX 082 245 0585 E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp